



聖アンデレ教会教会報

さかえ

第307号

2009年2月22日発行

〒105-0011

東京都港区芝公園 3-6-18

日本聖公会 聖アンデレ教会

TEL 03-3431-2822

FAX 03-3434-5698

mail tkystand@diana.dti.ne.jp

編集者 佐藤 睦

発行人 牧師 アンデレ大畑喜道

1873年（明治6年）7月、英国の福音伝播協会（Society for Propagation of the Gospel）本部の礼拝堂で伝道師派遣の壮行礼拝が捧げられました。青年宣教師アレクサンダー・ショウとウイリアム・ライトは9月25日、横浜に第一歩を印します。来日した二人は、三田の福沢邸に身を寄せながら伝道を開始します。翌年4月11日受苦日だったそうですが、霊南坂の陽泉寺を借りて在京英人のための礼拝をはじめます。1875年（明治8年）クリスマスに金子猪之助、多治見十郎、尾崎行雄ら8人がショウ師から受洗します。（前年の明治7年11月30日、麹町のライト宅で島田弟丸はライトから受洗しているようです）霊南坂の寺から三田松本町に小会堂を建てて礼拝を続け、洗礼を受けた人々は70余名にも及び、英人会衆と日本人会衆の礼拝ができる場を求めて、1879年（明治12年）レンガ造りの教会が建設され、6月4日新聖堂の聖別式が挙行され聖アンデレ教会と名づけられ、初代牧師としてショウ師が就任されます。この日こそ、私たちの聖アンデレ教会の創立記念日です。今年は130周年を迎えます。残念なことに1894年に起こった市川葛飾地震でレンガ造りの初代聖堂が倒壊、良く1895年に木造の聖堂（戦災に遭って消失するまで小聖堂と呼ばれて親しまれた）が再建されます。仮聖堂を経て、1950年に新聖堂が建ち、1995年「耐震、耐火補強目的とした改修工事」がなされて現在の礼拝堂になりました。主教座聖堂としての活動も活発に行われるようになりました。二人の青年の播いた福音の種は、自然災害や戦災という苦難や困難な時代を乗り越えて、

大きく実を結び発展してきました。2009年1月1日に受洗された教籍簿の番号は5125番です。実に5000人を超える人々がこの教会でキリストに結ばれました。多くの人々がこの場で信仰を強め、福音を広めていき

たいという熱意の結果です。皆さんの一人お一人は皆、人生の意味や救いを求めた末に、キリストに出会い（実はキリストに選ばれた）キリストと共に歩もうと決心し、集められて、養われました。創立記念の時は、福音宣教に熱意を持ってこられた先輩諸兄姉のキリストの福音に対する熱い思いをもう一度我が物にする時です。自分自身が信仰の道を歩み出した時のあの感動、喜びの時をもう一度思い出す時です。教会の歴史年表を見ていると牧師として十人の名前が出てきます。副牧師として婦人伝道師として活躍された方々の名前が出てきます。しかし聖アンデレ教会の歴史を作ってきたのは、名前を記されていないもっと多くの方々の祈りです。初代ショウ師、今井寿道司祭（2代）山田助次郎司祭（3代）野瀬秀敏主教（4代・後横浜教区主教）細貝岩夫司祭（5代）今井直道司祭（6代）今井照治司祭（7代）高島靖司祭（8代）竹内謙太郎司祭（9代）そして不肖小生に至るまで、共に祈り、共に聖書のみ言葉を学び、聖餐に集った人々の事を思い起こしましょう。心を一つにしていきたいと思

います。第一に大切にしたいことは礼拝に集るということです。共に集められ養われて派遣される。一緒にみんなで食事ができる。聖餐に与ることができる。キリストと一つになることで、暖かい気持ちになってこの世界

一三〇周年を迎えるにあたって

司祭 アンデレ 大畑喜道

に愛の種を播いていくようになりたいと思います。特に創立記念の日は大礼拝、総員礼拝の始まりの日といたしましょう。なぜ始まりの日であるかという、聖アンデレ教会に現に繋がっている人、洗礼堅信を受けた人だけが総員ではありません。福音の光を求めている人々、キリストが招こうとしている私たちがまだ知らない多くの人々がいるはず。そうした意味では創立記念の日に全ての人が集まることは不可能です。しかし第一歩を始めましょう。一人が一人を招く。漁師アンデレはまず兄弟の所へ行って「来て見なさい」と言いました。そこから教会が始まったといっても過言ではないでしょう。これが基本です。6月まで待つなどと言わなくて構いません。手始めに今度の日曜日から始めましょう。礼拝堂の後ろのスタンドグラスはアンデレの網をイメージしてるのだそうです。

先輩諸兄姉のことの熱意、自分自身の信仰をもう一度強めるために今年の前半は竹内司祭から、後半はもっと広げて講師を選んで講演会、学びの時を持つと計画しています。2月から5月まで毎月第三日曜日（第一回目は2月15日）午後1時からホールで竹内司祭をお招きして一緒に信仰の基本を学ぶ予定でいます。学びを通して私たちがこれから進んでいく方向性を共有していきたいと思います。

130周年という節目の年として、130周年特別委員会が立ち上がりました。委員会では三つの記念事業を行おうと計画しています。多くの人々に福音を知ってもらうための方策として、第一に聖堂周囲のライトアップ、掲示板の常設を考えています。第二にホームページの再構築です。教会は何を考えて何をしようとしているのか、何を大事に思っているのかのメッセージを積極的に伝えていくための手段です。様々な伝達の手段があると思います。現在も教会のホームページはありますが、なかなか更新できずにいます。一つには更新し難いシステムになっているということです。この

際、プロフェッショナルに相談して、多くの人を読みたくなるような再編成をし、できるだけ速やかに更新できるようにしたいと思います。多くの人々が教会の目の前を通ります。その人々にもメッセージやここに教会があるんだと知らせたいと思います。そのためのライトアップと掲示板です。第三番目は青山墓地の整理改修です。長い歴史を経て無縁の方々も増えてきました。中には墓碑が倒れたりしてしまった物もあります。ショウ師、山田牧師、桧垣伝道師の墓もあります。合同墓地そのものは改修をしていますが、周囲の整備が遅れています。信仰の先輩達を思い起こす良い機会としていきたいと思います。墓地の改修計画はまだ具体的な案をご提示できませんが、予算立てをしたいと思います。

これらの諸活動のために必要な資金のために、特別献金の募集を実施することとしました。100年に一度の経済不況といわれる中ですが、趣旨をご理解頂き、聖アンデレ教会のためにご支援ご協力いただけますようお願い申し上げます。

創立130周年記念 1879年～2009年

創立感謝特別献金

募金目標額500万円

募集期間 2009年復活日～7月末日まで

教会ライトアップと掲示板設置	150万
ホームページ再構築事業	100万
青山墓地改修整理事業	250万

一口1,000円 何口でも構いません
よろしくご協力ください

聖アンデレ教会

牧師 司祭アンデレ大畑喜道
教会委員会 130周年委員会

新任役員ご挨拶

アンデレ教会創立130周年を迎える年に責任ある大切なご奉仕をさせていただくことになりまして、大変恐縮いたしております。これからの2年間、時間的には中々厳しいとは思いますが、自分が出ることを背伸びをせず心を尽くして皆さまと共にチームワーク良くアンデレ教会のために微力ながらご奉仕できればと思っております。皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

小笠原 真智

2年間お役を勤めさせていただきます。聖アンデレ教会創立130年また日本聖公会宣教150周年の年に委員の役を勤めさせていただく事の重みをひしひしと感じております。信徒の高齢化、財政の悪化などが心を痛める話題となっている昨今ですが、聖アンデレ教会に限って見れば、その活動は大畑司祭のもとで幅広い年齢層の信徒が力強く様々な活動を行いここ数年のうちでは「力」を感じる状況と思えます。そのような中で、130年と言う記念すべき年にみんなが更なるジャンプを試みようとしている。皆さんの活動のお力添えを少しでも出来ればと思えます。よろしく願いします。

倉辻 明男

学生時代に学校から最寄りの教会の日曜礼拝に牧師様のはんこを頂くために出席していた時代を経て、約20年後に子供と共に今度は自らの意志で教会に通うようになり10年の月日が流れてしまいました。この間私は諸先輩方のお働きを横目にイベントや楽しい時にばかり参加する信者でございました。このたび教会委員という大役を仰せつかり目が覚める思いでございます。私がお役に立てるかはわかりませんが皆様に助けていただきながらお仕事をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

後藤 真由美

聖アンデレ教会創立130年の時に委員に選ばれたことの責任のおもさを痛感しております。創立の歴史を振り返る時青年宣教師アレクサンダー・ショウ先生とはいったいど

んな人物だったのかと思いをめぐらします。またこの時期に受洗された信仰の先達はなにを求めてショウ先生の教えにしたがったのでしょうか。きっと神を求め信仰を深めようという熱い血潮がたぎっていたのでしょうか。私たちは歴史を真剣に振り返り、主にある交わりを求めて、新しい世界に向かって神のみ言葉をたずさえ、歩みつづけたいと思えます。

佐藤 睦

聖アンデレ教会は現在幸いなことに大畑司祭の司牧のもと教勢が上向いておりますが、一方で西側の崖崩落の危険性、牧師館・教区事務所の老朽化問題など、避けて通れない幾多の困難な課題が神様から備えられております。それら諸課題の解決を何が御心なのか祈りながら2年間の任期を奉仕させていただきたいと思えます。困難な諸課題の解決は教会委員のみでは為し得ませんので、皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

杉山 晴比古

皆様にお支えいただき、子どもと祝うユーカリストで洗礼を受けたあと、そのまま札幌へ。昨年4月、7年ぶりに帰りました。逆単身赴任で家内（かほる）と息子（照洋）は、義母と札幌で暮らしています。わからないことばかりでご迷惑をお掛けしますが、何事も主の命じられたことと念じ精進しますので、よろしく願いします。

鈴木 幸夫

昨年9月に、里親さんから犬を譲り受けました。胴が黒くて足が白い、1歳の雑種の女の子です。千葉県だけで年間3万頭のペットが殺処分されている由。ショックでした。朝は5時起きで散歩、おかげで夜は10時消灯。早寝、早起き、あさごはん、の健康的な生活が続いています。隣家の両親もかわいがってくれます。家族の笑顔が増えたことが何より。会計の仕事も、皆様に支えられ、笑顔のうちに遂行して参ります。

松岡 正道

〔お知らせ〕

コイノニア

《結婚》

11月23日

バルトロマイ早崎宏平さんと田中百合さん聖アンデレ教会にて聖婚式を挙げられました

1月10日

アンドレア堀江紘平さんとセシリア富樫知子さん聖アンデレ教会にて聖婚式を挙げられました

《洗礼》

12月14日

マリア小森敦子さん

パトリック大西道雄さん

1月1日

セシリア富樫知子さん

聖アンデレ教会にて洗礼を受けられました

1月8日

ヨハネ平田源助さん

ご病床にて洗礼を受けられました

《堅信》

12月14日

マリア小森敦子さん

パトリック大西道雄さん

岡本秩典さん

聖アンデレ主教座聖堂において堅信を受領されました

《転会入籍》

岡本秩典さん

玉川神の教会より

サムエル岸健二さん

ユニケ岸尚子さん

テモチ岸一作さん

横浜聖アンデレ教会より

イサク岸大作さん

聖ルカ礼拝堂より転会入籍されました

《逝去》

11月16日

リベカ小川いさ子さんが逝去されました

12月5日

アンデレ石垣明さんが逝去されました 12月8日聖アンデレ教会にて葬送式が行われました

靈魂の平安とご遺族への主の慰めを祈ります。

ユーカリストのクリスマスパジェント

12月21日（降臨節第4主日）こどもと祝うユーカリストの礼拝のなかで、パジェントをお捧げしました。いつものユーカリストのこどもたちを中心にボーイスカウトやガールスカウト、大人の信徒も大勢が参加して、イエス様の誕生劇を上演しました。今年は最高齢の関屋先生にもご出演をいただき、幅広い年代を通じてクリスマスをお祝いすることが出来ました。



教会にJAZZが来た！スペシャル

毎年6月に行っているビッグウイング・ジャズ・オーケストラによるチャリティコンサートですが、今回はスペシャルということで、マンリー・セレクトティブ・キャンパス・ビッグバンドというオーストラリアの高校生たちをゲストに迎え、1月18日彼らとのジョイントコンサートが開催されました。高校生とは思えぬ素晴らしい演奏に満員の会場は大興奮な一日でした。とても素晴らしい日豪文化交流となりました。



編集委員 佐藤・倉辻・鈴木幸夫・林